

初めての記録員の練習ログ

FIVB室内の練習例と空欄シート。公式記録用紙やリベロ管理用紙ではなく、大会の研修に代わるものでもありません。

実際の担当前に練習する

相手に架空のラリーの勝者を読み上げてもらい、1人が記録し、もう1人が得点板を確認します。Bがサーブしていても、得点は常にチームA-チームBの順と決めましょう。公式用紙の欄を学ぶときは、主催者の現行用紙を別に使ってください。

例：Amberの7番がサーブして開始。勝者はAmber、Cedar、Cedar、Amber、Amber。5ラリー目の後でCedarがタイムアウトを取ります。レシーブ側で勝った後の次のサーバーは、練習用ラインアップに従いCedarが8番、Amberが4番です。

解答と大切な確認

ラリー1～5の後の得点：1-0、1-1、1-2、2-2、3-2。次のサーバー：Amber 7、Cedar 8、Cedar 8、Amber 4、Amber 4。タイムアウト後も3-2で、Amber 4のサーブです。

相手がタイムアウト後に3-3と表示したら、ラリーを作り足してはいけません。指導担当の審判に食い違いを知らせ、最後に確認できた得点を示します。得点板担当者を責めず、出来事を分かりやすく説明する練習をしましょう。

初めての記録員の練習ログ

自分の練習用空欄

日付／相手／セット番号： _____

団体、ルール、大会用紙： _____

チームA／チームB／最初のサーブ側： _____

認められた並びの資料／レシーブ勝利後の次のサーバー： _____

ラリー1：勝者 _____；得点A-B _____；次のチーム・サーバー _____

ラリー2：勝者 _____；得点A-B _____；次のチーム・サーバー _____

ラリー3：勝者 _____；得点A-B _____；次のチーム・サーバー _____

ラリー4：勝者 _____；得点A-B _____；次のチーム・サーバー _____

ラリー5：勝者 _____；得点A-B _____；次のチーム・サーバー _____

中断／得点／審判の指示： _____

最後に一致した得点／副審への質問： _____

担当前に主催者と、研修、リベロの担当、ブザー、訂正、終了時の確認を打ち合わせます。